

令和3年度

松茂小学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 主体的・対話的で深い学びの実現(言語活動の充実)
- 個に応じた指導の充実(ICT 活用・利用促進), 学習意欲の向上

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員	委員	中山 祐次	金森 利至	高岡伊都子
		榎並 由香	吉永扶美子	長井 円香
竹花 幸恵		吉川 雄基	矢野由紀子	前川 勇太
		林 紗緒理	金重志津代	小幡実千代

校長

中山 祐次

○次の(1)~(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等, 様々な機会を捉え, 取組状況の把握を行う。

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○簡単な計算や漢字の読み書きはできる。 ●文章の正確な読み取りや, 学習した漢字の活用ができない。	・単元のまとめや授業のふり返りの際に, 学習内容の練習問題を自力で解くことができる。 ・学習した言葉を習得し, 言語活動(話す, 聞く, 書く, 読む)の中で正しく使うことができる。	・読書の推進, 新聞の活用に努める。 ・ドリル, 小テスト, ノートチェックをこまめに行い, 学習した漢字は必ず書くことを徹底する。 ・ICT(e ライブラリ学習ドリル等)や辞書の活用機会を増やす。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○ペアで考えを伝え合うことや, 理由を明らかにして, 自分の意見や考えを表現することができる児童が増えた。 ●話し合い活動の中で, 考えを深めることができる児童が少ない。	・既習の言葉を活用し, 理由を明らかにして自分の考えを表現することができる。 ・既習内容を活用して自力解決し, 互いの考えを聴き合いながら学びを深めることができる。	・思考や話し合いの場で, ホワイトボードやICT等の教具を効果的に活用する。 ・自力解決の時間を確保したうえで, ペア学習やグループ学習等, 多様な学習形態を取り入れる。 ・「学習ガイド」の活用問題プリントを活用する。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○与えられた課題に真面目に取り組むことができる。興味のあることに意欲的に取り組むことができる。 ●声かけがなければ, 話を聞く態度にならない児童がいる。自ら進んで課題を見つけ, 計画的に学習に取り組む児童が少ない。	・相手の話を最後まで静かに聞いたり, 自分の考えを進んで表現したりすることができる。 ・学習に向かう準備を整えることができる。	・「学年別話し方・聞き方表」や「聞き方・話し方名人」, 話形をもとに, 発達段階に応じた指導を継続して行う。 ・ICT や具体物, 体験活動を取り入れる等, 主体的な取り組みを促す動機付けや課題の設定を工夫する。 ・学習準備やよい姿勢を促す表示による視覚的な指導を徹底する。			

令和3年度 学力向上ロードマップ

